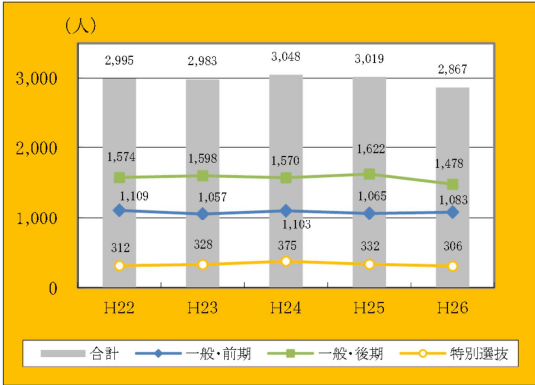


2. 学生の受入 1/2

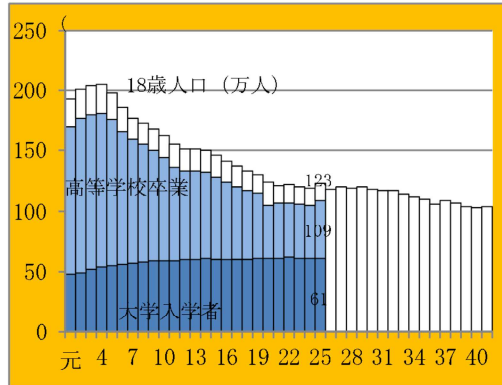
- 入学志願者総数は、2,867人
- 一般選抜（前期日程）の志願倍率は、3.6倍

2-1 志願者の推移



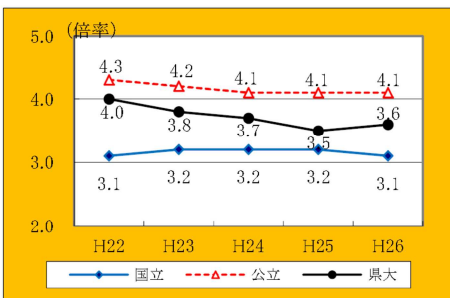
平成26年度は、後期日程の志願者が減少したため、志願者総数が減少した。

<参考> 18歳人口の推移



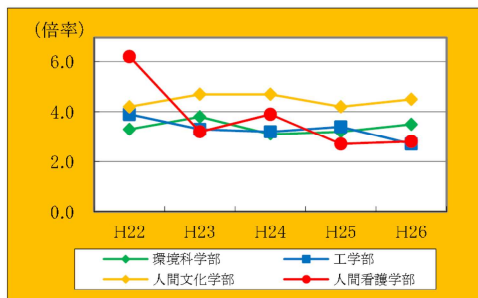
出所：文部科学省
平成25年18歳人口123万人、高校卒業業者数109万人、大学入学者数61万人、
大学進学率47.4%、大学・短大進学率 53.2%

2-2 前期日程志願倍率の比較



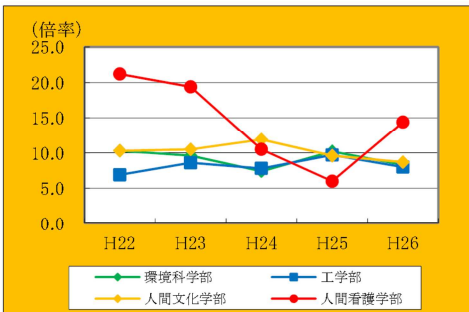
※ 出所：文部科学省報道発表資料
一般選抜（前期日程）の志願倍率は、平成22年度以降、減少の傾向であったが、平成26年度は若干上昇した。

2-3 前期日程志願倍率（学部別）



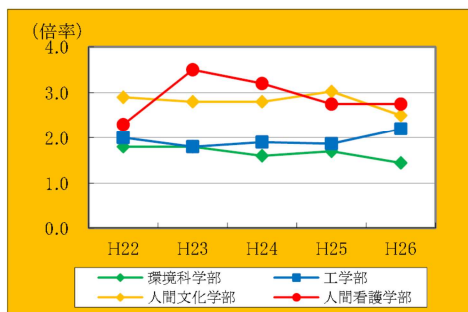
平成26年度は、工学部の志願倍率が前年度により下降した。

2-4 後期日程志願倍率（学部別）



人間看護学部の志願倍率が大きく上昇した。

2-5 推薦入試志願倍率（学部別）



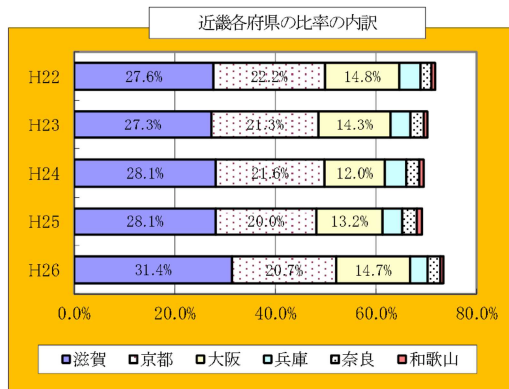
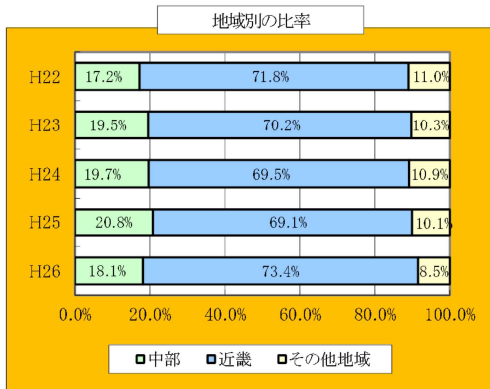
人間文化学部の倍率が減少した。人間看護学部は、高い傾向が続いている。

2. 学生の受入 2/2

- 志願者のうち近畿地区は73.4%、中部地区は18.1%
- 新入学生のうち県内出身者は、38.2%（前年度0.4ポイント増）

2-6 地域別の入学志願者比率の推移

（比率＝当該地域の志願者／総志願者）

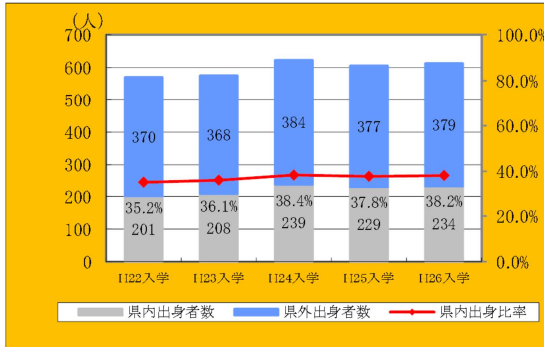


近畿地区（2府4県）の志願者比率は、総志願者の約73%で前年を上回った。また中部地区（山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重）からの志願者比率は、約18%と前年より減少したが、両地域で総志願者の約92%を占めている。その他地域のうち3.0%は北陸地区である。

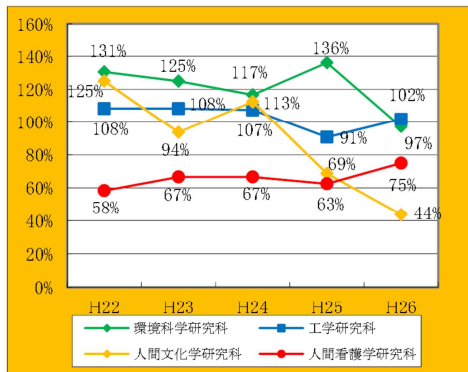
近畿地区内の各府県の志願者比率は、滋賀県が約31%、京都府が約21%程度となり、両府県で総志願者の約半数を占めている。

また、新入生のうち滋賀県内高等学校出身者の比率は約35%～39%で推移している。

2-7 新入生のうち県内出身数と比率の推移

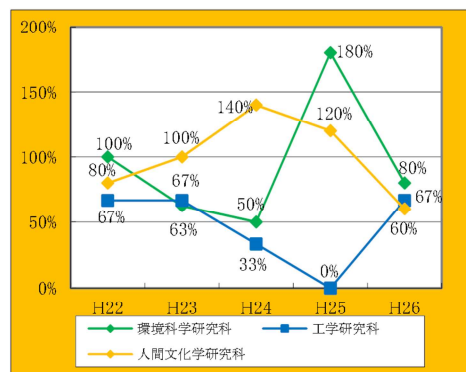


2-8 大学院入学定員充足率（博士前期課程）



平成26年度は、人間文化科学研究科の定員充足率が大きく低下した。

2-9 大学院入学定員充足率（博士後期課程）

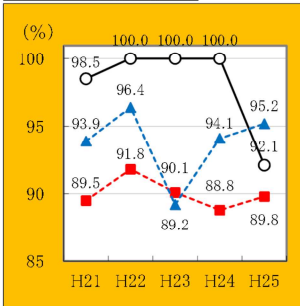


3研究科とも、母数が小さいため、1名の増減でも充足率が大きく変動し、コンスタントに定員を確保することは難しい。

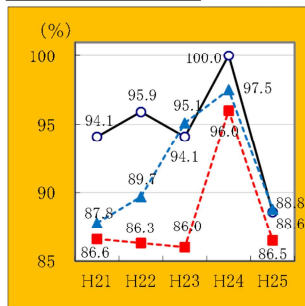
3. 教育の成果

- 国家試験合格率は、看護師：92.1%、保健師：88.6%、助産師：100%、管理栄養士：96.4%
- TOEICの平均スコアは、2年間で15.7%上昇

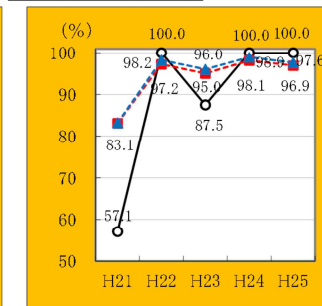
3-1 看護師試験



3-2 保健師試験



3-3 助産師試験

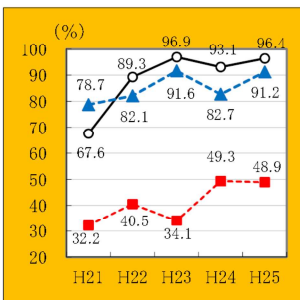


○ 県大
 ■ 全国平均
 ▲ うち新卒

※ 出所は、いずれも厚生労働省報道発表資料など

平成 25 年度は、看護師試験の合格率が 100% を割ったが、助産師試験は全員合格した。合格者数は次のとおり。
 看護師 (53 人/58 人) 保健師 (70 人/79 人) 助産師 (7 人/7 人) (合格者数/本学受験者数)

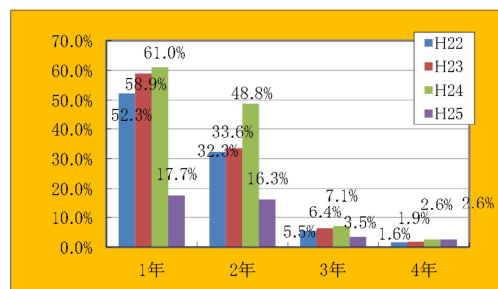
3-4 管理栄養士試験



○ 県大
 ■ 全国平均
 ▲ うち新卒

※ 出所は、いずれも厚生労働省報道発表資料など

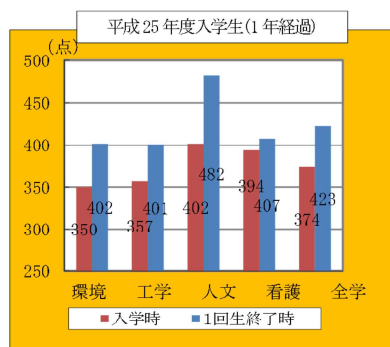
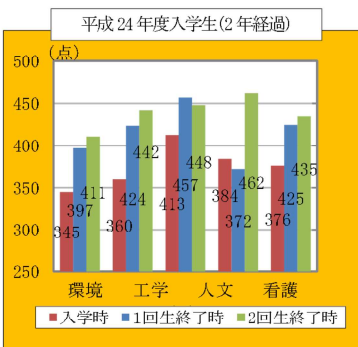
3-5 e-learning 利用状況



平成 20・21 年度は新卒の全国平均合格率を大きく下回っていたが、平成 22 年度以降は新卒の全国平均を上回って大きく好転した。合格者数は次のとおり。(27 人/28 人) (合格者数/本学受験者数)

各回生とも利用が増加傾向にあるが、学年の進行とともに利用者が減少する。平成 25 年度は、授業での利用が減ったためか、利用率が大きく減少した。

3-6 TOEIC 試験結果



入学時、1 年次終了時、2 年次終了時の 3 回、TOEIC 試験の受験を義務付けており、平成 24 年度入学生は入学時と比べて 2 年間で平均スコアが 15.7% 上昇した。

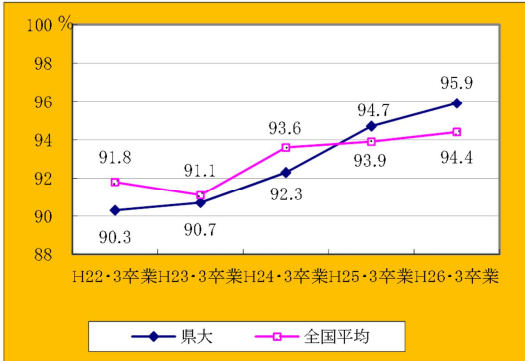
入学年度・回数	平均点	最高点	
H24	1回目	376	745
	2回目	425	790
	3回目	437	825
H25	1回目	374	710
	2回目	423	900

※ 受験率が低いものは除外した。

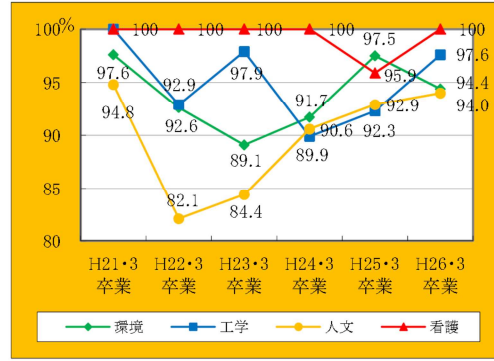
4. 学生の進路

○ 就職内定率（学部）は、全国平均（94.4%）を上回り、95.9%

4-1 就職内定率（全国比較）



4-2 就職内定率（学部別）



※ 出所：文部科学省報道発表資料

平成26年3月卒は95.9%で、平成25年3月卒比へ1.2ポイント上昇し、全国平均94.4%を上回る結果となった。

学部別の特徴は次のとおりである。

- ・環境科学部 94.4%（前年比3.1ポイント下降） 全学科とも前年を下回った。
- ・工学部 97.6%（前年比5.3ポイント上昇） 機械システム工学科は100%。
- ・人間文化学部 94.0%（前年比1.1ポイント上昇） 生活デザイン学科は100%。
- ・人間看護学部 100%（前年比4.1ポイント上昇） 前年は開学以来始めて100%を下回ったが25年度は100%を回復した。

（就職内定率=就職内定者/就職希望者）

4-3 平成25年度末卒業生進路状況（産業別就職状況）

